

# 世界が 懸念 していること

2024年12月

# 世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界29か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、  
[www.ipsos.com](http://www.ipsos.com)  
でもご覧いただけます。

詳細については、  
[Teodros.Gebrekal@ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@ipsos.com)  
までお問い合わせください。

=Report\_1175

# 主な調査結果

## 01. インフレは依然として最大の懸念事項

2024年は12か月のうち11か月、インフレが29か国で最大の懸念事項となっています。今月も懸念する人の割合は変わらず、32%が挙げています。

## 04. スペインで汚職がトップ

スペインで深刻な洪水が発生した後、汚職に対する懸念は先月記録的なレベルに達しました。12月スペインでは、汚職が国の最大の問題の一つであると考える人の割合がさらに上昇し、3年ぶりの高水準に達しています。

## 02. フランスの悲観主義のピーク

フランスでは、「国は正しい方向に向かっている」と考える人の割合が10年ぶりの低水準に達しています。8ポイント低下した後、国が正しい方向に進んでいると感じている人は10人に1人(10%)に留まっています。

## 05. ペルーは犯罪を懸念

今月、ペルー国民は犯罪と暴力を自国が直面する最大の問題と位置付けており、3分の2(65%)が懸念を表明しています。

## 03. イスラエルで汚職が増加

汚職を回答するイスラエル国民の割合は先月15ポイント上昇して36%となり、今や国家間の軍事的な対立よりも大きな問題となっていますが、国が最も懸念しているテロリズム(45%)には及びません。

## 06. 南アフリカの失業率

南アフリカ国民は47か月連続で失業を最大の懸念事項としています。2024年12月には、3分の2(65%)が雇用が問題であると回答しています。

# 世界が懸念していること 2024年12月

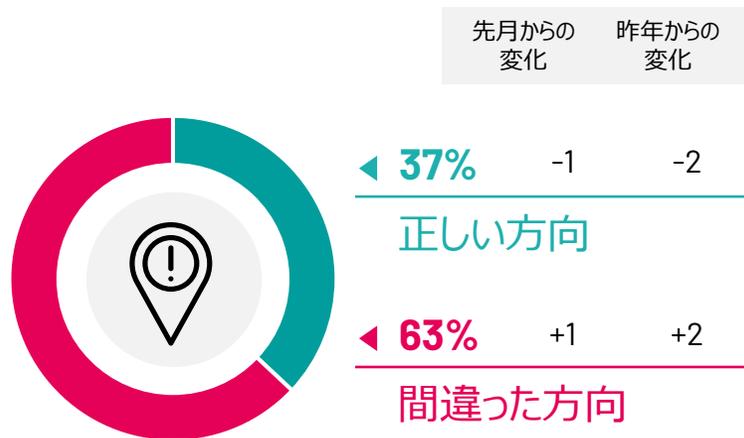
## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	先月からの 変化	昨年からの 変化
インフレ	=	-5
犯罪と暴力	-1	+1
貧困と社会的不平等	-1	-1
失業率と雇用	+1	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	+1	+1

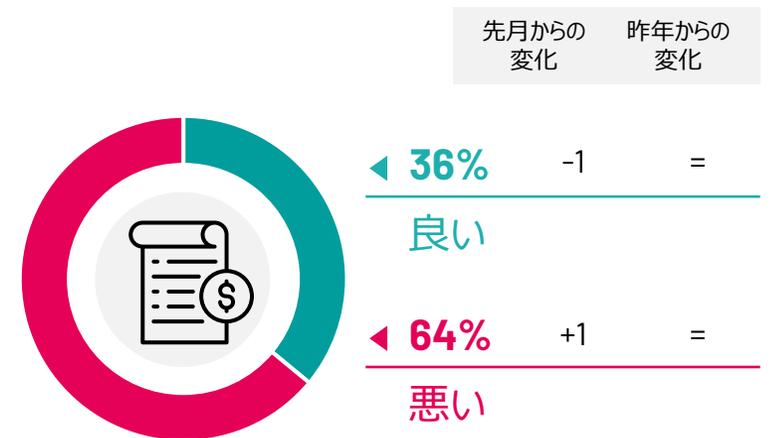
## 国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



## 経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



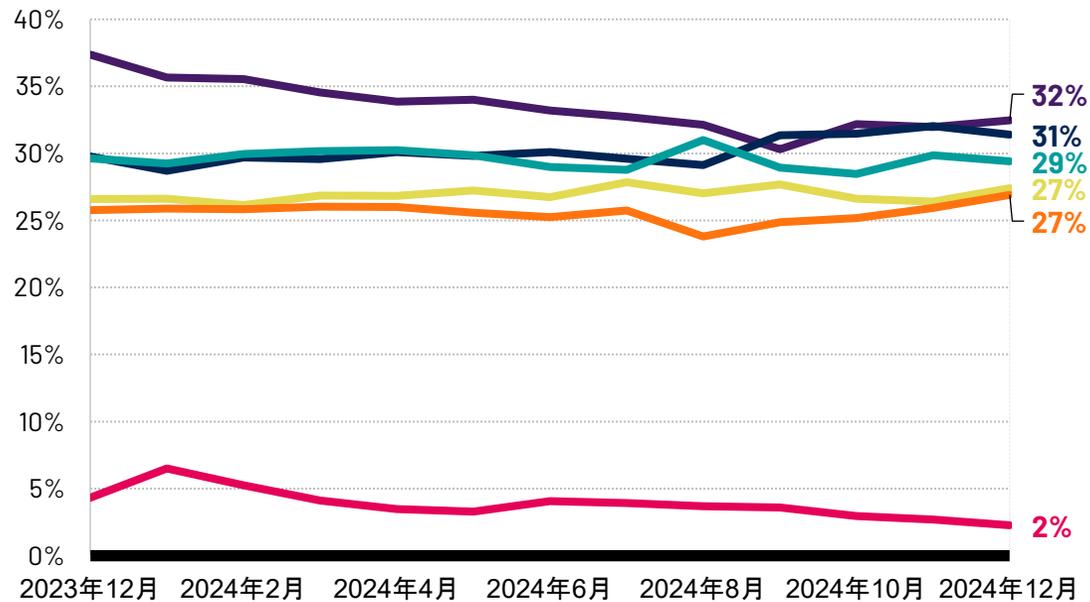
対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳細については調査手法を参照。

# 世界が懸念していること 12か月のトレンド

## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



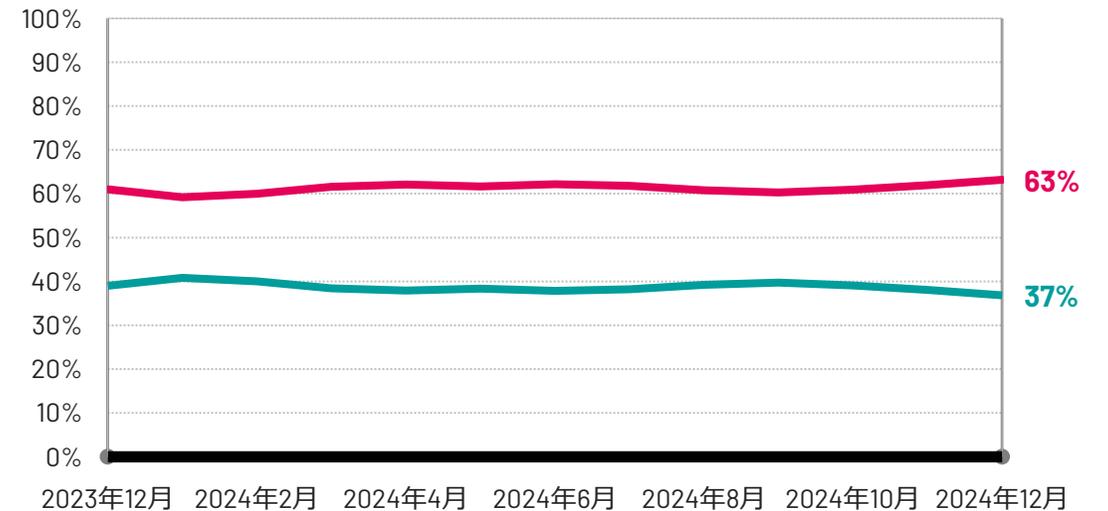
インフレ      犯罪      不平等      失業      汚職      **コロナウイルス (Covid-19)**

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## 国の状況

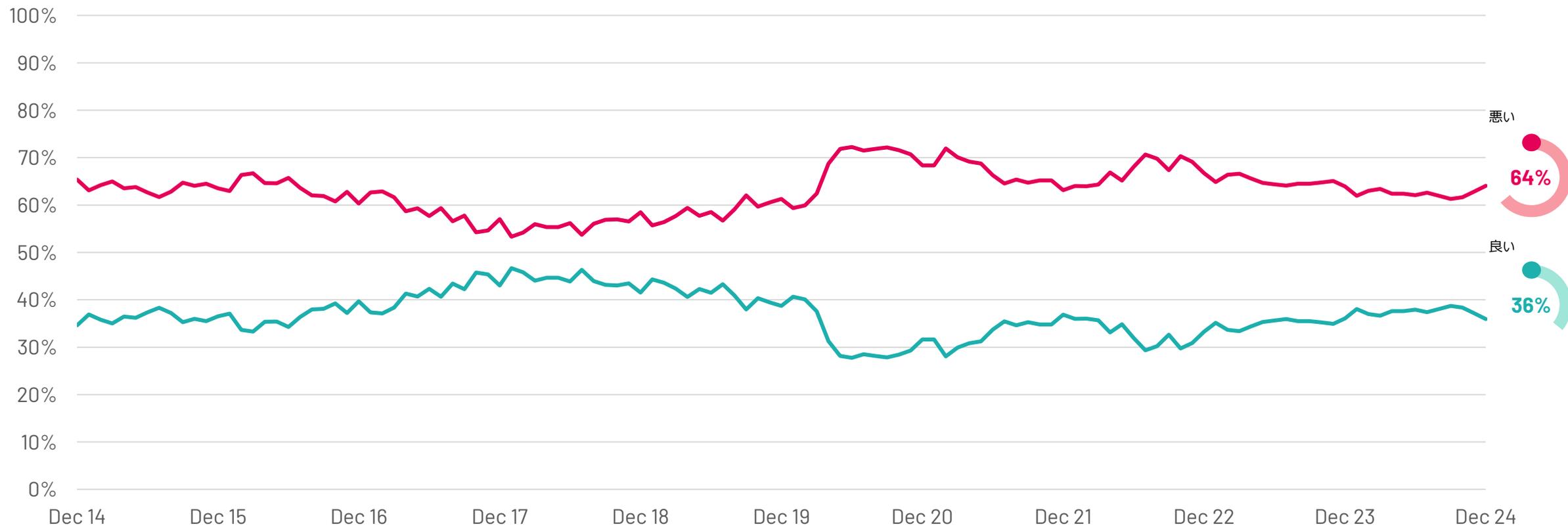
Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



正しい方向      間違った方向

# 世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。  
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 各国が進む方向

全対象国

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

29か国全体で、自国が正しい方向に向かっていると答えた人の割合はわずかに減少し、37%となっています。

ペルーは、自国が正しい方向に進んでいると信じる割合のランキングで、16か月連続で最下位にありました。今月は悲観的な見方を示す人がわずかに減少し、10人に1人(10%)となっています。

しかし、ペルー国民だけではありません。フランスも8ポイント下落して10%となり、現在は最下位グループに並んでいます。これはフランス国民が自国に対して抱いた過去10年間で最も悲観的な見方です。

悲観論はヨーロッパの他の地域でも感じられるようです。ベルギーでも、自国が正しい方向に進んでいると感じている人は8ポイント減少して28%となっています。ドイツは5ポイント下落し、5分の1未満(18%)となっ

ています。同様に、ポーランド(38%)とスウェーデン(26%)も5ポイント減少しました。

※なお、実査は11月22日から12月6日の間に行われました。韓国は12月3日と4日に非常戒厳令を発出し、その時点で韓国の回答者の95%がイプソスの調査を完了していました。

# 10%

フランスでは、10%が自国が正しい方向に向かっていると答え、10年ぶりの低水準となっています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

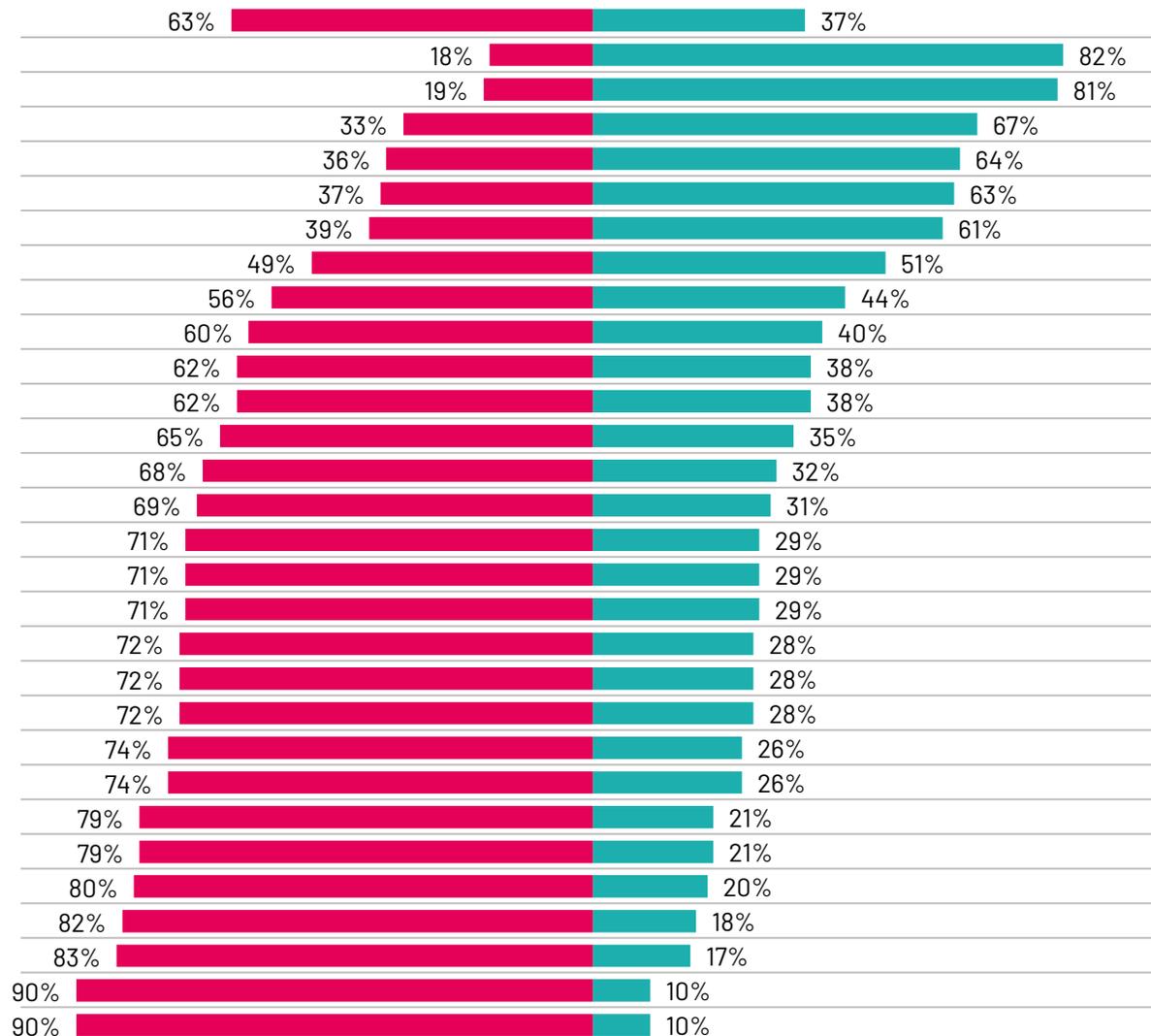
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

## 国

世界
インドネシア
シンガポール
インド
マレーシア
アルゼンチン
タイ
メキシコ
オーストラリア
ブラジル
南アフリカ
ポーランド
米国
スペイン
コロンビア
チリ
英国
カナダ
イスラエル
イタリア
ベルギー
スウェーデン
日本
トルコ
オランダ
ハンガリー
ドイツ
韓国
ペルー
フランス

Q:この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。(2024年12月)



正しい方向

間違った方向

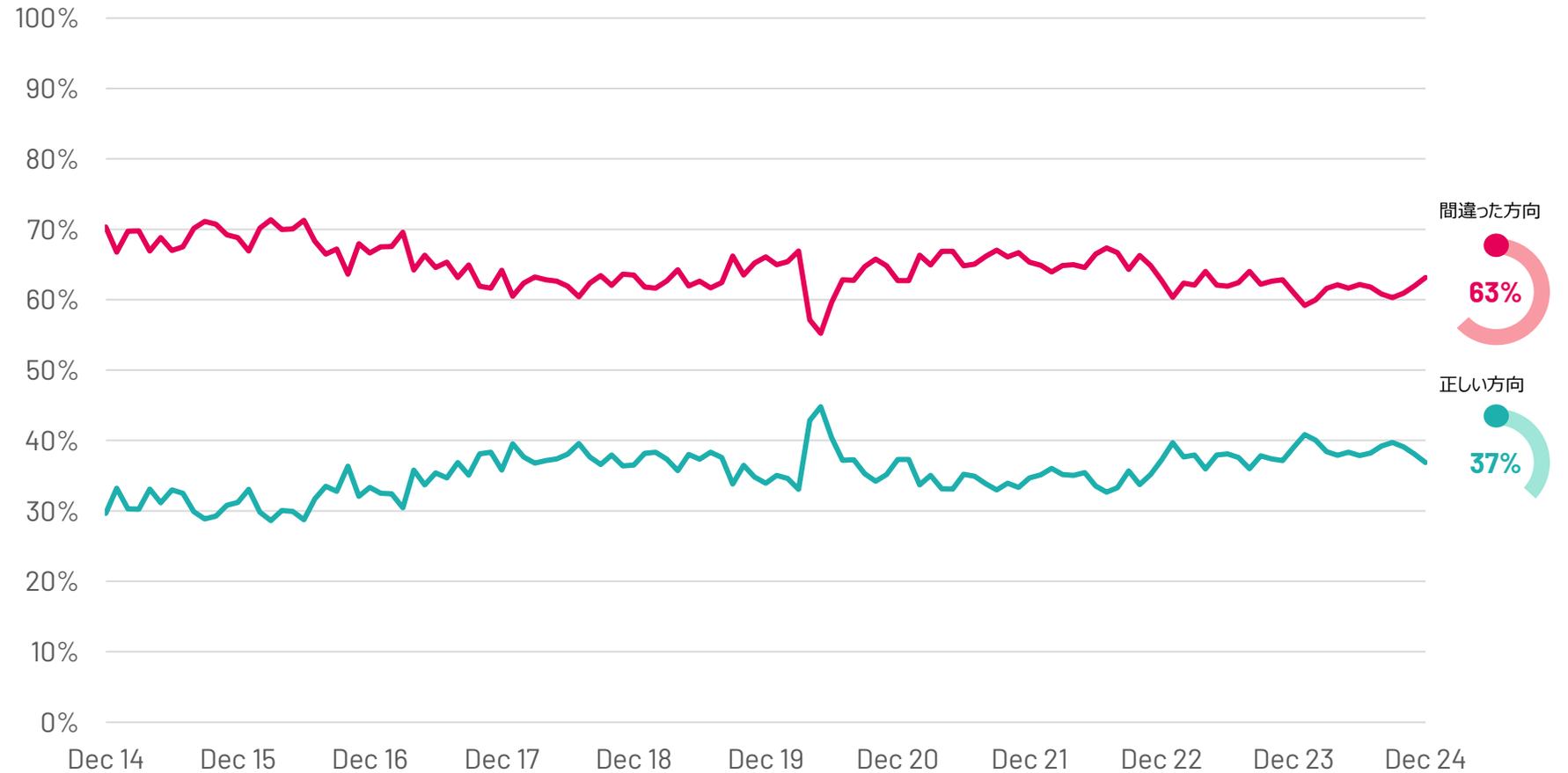
# 世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていらっしゃいますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



# 世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

# 世界の懸念事項: 全リスト

2024年12月現在、29か国においてインフレが最大の懸念事項となっています。3人に1人(32%)がこれを問題として選択しており、昨年と同時期と比較して5ポイント低下しています。

先月、犯罪と暴力はインフレと並んで最大の懸念事項でした。今月、犯罪に対する懸念はわずかに減少し、31%となっています。

12か月のうち11か月間、インフレが世界最大の懸念事項となっていました。9月は犯罪と暴力がトップでした。

一方、上位5つの懸念事項の残りについては今月ほとんど変化がなく、

不平等はわずかに減少して10件中3件(29%)となり、失業と汚職はともにわずかに増加して27%となっています。

税金は今月7位から6位に一つ順位を上げ、29か国中5分の1弱(18%)が不安を表明しています。

移民管理は、懸念を表明した人が16%で、気候変動と並んで8位に下がっています。

# 11/12

今年は、12か月中11か月間、インフレが最大の懸念事項となっています。

**対象:** 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

# 世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

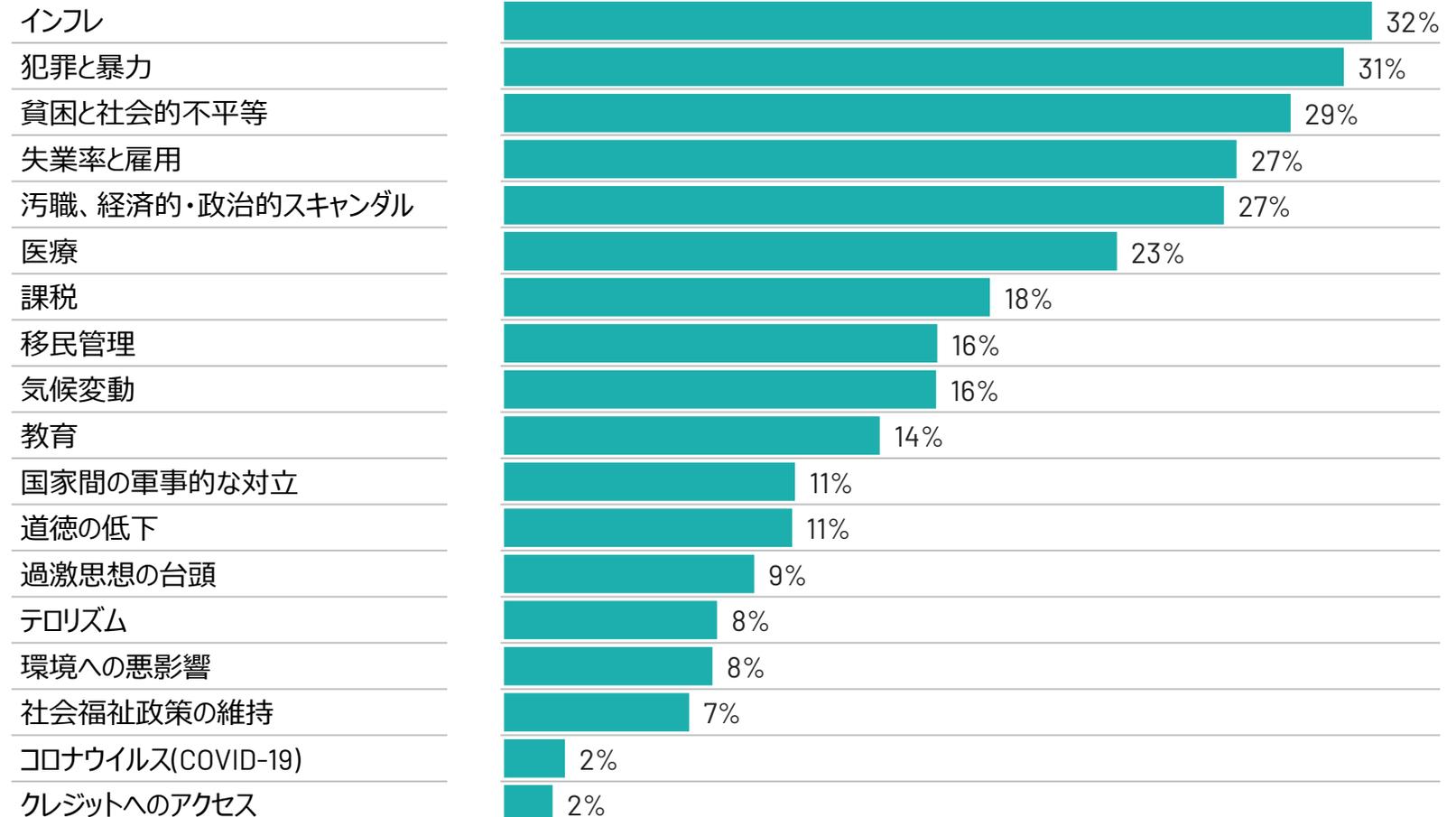
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

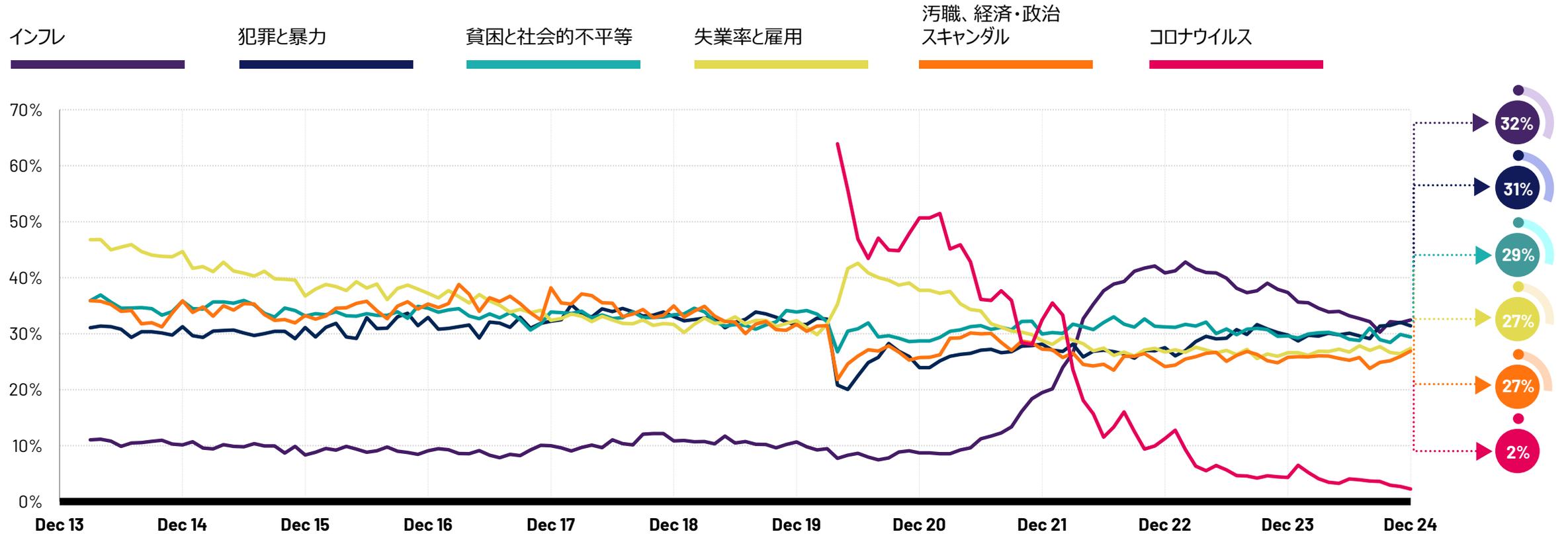
## 懸念事項

## 2024年12月の回答割合 (世界各国平均)



# 世界の懸念: 長期トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2024年12月

# 1. インフレ

今年12月、29か国においてインフレは依然として最大の懸念事項であり、3分の1(32%)が懸念を表明しています。依然として最大の懸念事項ではあるものの、前年同期比では5ポイント低下しています。

生活費を主な懸念事項として挙げる国の数は、先月6か国から8か国に増加しており、カナダとフランスが新たに加わり、両国とも大幅な増加が見られました。より長期的な視点で見ると、1月にはアルゼンチン、ドイツ、韓国を含む11か国がインフレを最大の課題と認識していました。

価格を心配するカナダ国民の割合は、この1か月で7ポイント上昇し、半数(49%)が価格が問題だと答えています。同様に、フランスでも懸念は6ポイント上昇しましたが、それほど高いレベルではありません(37%)。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

昨年と同時期、アルゼンチンの懸念レベルは2024年12月時点よりも32ポイント高く、現在では5分の2弱(38%)が懸念を表明しています。

# 32%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

## インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(60%)
- 米国(46%)
- トルコ(51%)
- インド(45%)
- オーストラリア(49%)
- ポーランド(43%)
- フランス(37%)
- カナダ(49%)

# 1. インフレ

**対象:** 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

**フィルター:** 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	インフレを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	32%	=	-5
シンガポール	60%	-3	+2
トルコ	51%	+6	-8
オーストラリア	49%	-1	-3
カナダ	49%	+7	-8
米国	46%	-4	+3
インド	45%	+1	+2
ポーランド	43%	-1	-5
アルゼンチン	38%	-1	-32
メキシコ	38%	-1	+5
ハンガリー	38%	-2	=
フランス	37%	+6	-4
韓国	36%	+4	-3
ドイツ	31%	-2	-7
日本	30%	+1	-1
英国	30%	+2	-7
チリ	29%	+3	-9
マレーシア	28%	-2	-12
タイ	28%	-2	-2
スペイン	27%	-1	-12
ベルギー	27%	-1	+1
ブラジル	26%	+2	+4
イタリア	25%	+2	-6
コロンビア	24%	-1	-11
イスラエル	23%	+6	+7
南アフリカ	19%	=	-8
オランダ	18%	-3	-4
ペルー	16%	+5	-7
スウェーデン	16%	-2	-16
インドネシア	15%	-4	-2

## 2. 犯罪と暴力

犯罪と暴力は先月トップの座を分け合いましたが、11月以降懸念レベルが緩やかに低下したことを反映して、世界的な懸念ランキングで2位に後退しました。

先月、ペルーにとって不平等が最大の問題でした。今月、犯罪と暴力が国が直面する最大の懸念事項となり、3分の2(65%)が懸念を表明しています。これは昨年12月より7ポイント高い数値です。11月のスコア(66%)は、2020年3月の71%以来のペルー国民の最高スコアでした。

注目すべきは、トルコで犯罪を回答している割合が10ポイント減少し、10人中3人(29%)になったことです。

急激な低下にもかかわらず、この水準は昨年の同時期よりも依然として11ポイント高くなっています。

### 犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー (65%)
- コロンビア(44%)
- チリ(64%)
- ブラジル(41%)
- メキシコ(59%)
- スウェーデン(57%)

# 31%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## 2. 犯罪と暴力

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	犯罪と暴力を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	31%	-1	+1
ペルー	65%	=	+7
チリ	64%	+1	=
メキシコ	59%	=	+7
スウェーデン	57%	-5	-6
南アフリカ	54%	-2	+1
アルゼンチン	44%	+6	+1
コロンビア	44%	+2	+6
ブラジル	41%	-1	-1
オーストラリア	34%	+2	+9
フランス	32%	=	-5
イタリア	32%	+5	+4
トルコ	29%	-10	+11
日本	28%	-4	+11
米国	28%	=	-3
イスラエル	28%	=	-6
マレーシア	27%	-3	+3
ベルギー	26%	+1	+2
英国	26%	=	+3
インド	25%	+2	+1
ドイツ	25%	-4	+2
タイ	24%	=	-5
オランダ	22%	-1	+6
カナダ	22%	-1	+3
インドネシア	19%	-1	-3
スペイン	18%	=	+1
韓国	14%	-3	-8
シンガポール	10%	+1	+4
ハンガリー	8%	=	-1
ポーランド	7%	=	+2

### 3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、29か国全体で貧困と社会的  
不平等を回答する割合はわずかに減少し、29%となっています。

11月、ペルーにとって最大の懸念は  
不平等でした。しかし、不平等を回  
答した人の数が4ポイント減少して  
29%となり、現在は犯罪と暴力に  
次いで2位となっています。

ベルギーでは、不平等が最大の懸  
念事項として浮上し、8か月ぶりに  
税金が国民にとって最重要課題で  
はなくなりました。不平等についての  
回答は4ポイント増加し、現在ベル  
ギー国民の31%がこれを大きな問  
題として挙げています。これは昨年  
の同時期と比べて7ポイントの増加

となっています。

#### 貧困と社会的不平等が最大の 懸念事項となっている国:

- 日本(34%)
- ベルギー(31%、課税と同率)
- オランダ(31%)

# 29%

が、**貧困と社会的不平等**は  
自国が直面している重要な  
問題の一つであると答えてい  
ます。

### 3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	貧困と社会的不平等を懸念していると回答した割合	先月からの 変化	12か月の 変化
世界	29%	-1	-1
アルゼンチン	43%	-2	+8
ハンガリー	41%	-3	=
タイ	40%	-3	-4
インドネシア	39%	-12	-5
ブラジル	37%	-1	=
南アフリカ	36%	+1	+2
トルコ	35%	+3	=
日本	34%	=	-2
コロンビア	33%	+1	+1
ドイツ	33%	+2	+2
ベルギー	31%	+4	+7
オランダ	31%	-3	-9
フランス	29%	+3	+4
ペルー	29%	-4	-4
英国	28%	=	-3
チリ	28%	+4	+6
オーストラリア	27%	=	=
マレーシア	27%	-2	-2
カナダ	26%	-1	+2
スペイン	26%	-1	-5
イタリア	26%	-1	+1
イスラエル	24%	+1	+8
メキシコ	23%	-3	-9
ポーランド	23%	+1	+8
韓国	23%	+1	-4
インド	22%	+3	+3
シンガポール	21%	+3	-6
スウェーデン	20%	-1	-3
米国	17%	-3	=

## 4. 失業率と雇用

29か国全体で失業に対する懸念はわずかに増加し、失業を選択する人は4分の1強(27%)となっています。

南アフリカでは、47か月連続(3年8か月)で、失業が最大の懸念事項となっています。今年の12月も同様で、わずかに減少して3分の2(65%)の人が回答しています。

アジア太平洋地域では、不安が急増しているようです。インドネシアは最も懸念しているアジア太平洋諸国であり、8ポイント増加し、調査対象者の半数近く(48%)が回答しています。さらに、シンガポールは6ポイント上昇して45%、タイは7ポイント上昇して36%となっています。韓国

(43%)は7ポイント上昇していますが、回答者の95%が戒厳令が施行される前に調査を完了していたことに留意すべき点です。

### 失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(65%)
- アルゼンチン(44%)
- 韓国(43%)

# 27%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 4. 失業率と雇用

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	失業率と雇用を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	27%	+1	=
南アフリカ	65%	-1	+2
インドネシア	48%	+8	+3
シンガポール	45%	+6	+15
アルゼンチン	44%	-5	+12
韓国	43%	+7	+4
コロンビア	42%	=	+5
インド	39%	-2	-2
タイ	36%	+7	+9
ペルー	34%	+3	-2
チリ	34%	+5	+1
イタリア	33%	-1	-2
スペイン	31%	=	-9
メキシコ	29%	-2	-8
マレーシア	27%	-5	+1
オーストラリア	22%	=	-2
トルコ	22%	+4	-6
カナダ	21%	=	+1
スウェーデン	21%	+2	+6
ブラジル	20%	-2	-6
ベルギー	19%	+2	+4
ポーランド	17%	-2	+5
日本	17%	=	-3
フランス	16%	+4	+1
英国	15%	+4	+2
ハンガリー	15%	-3	-5
ドイツ	14%	+4	+5
米国	13%	+1	-1
イスラエル	9%	-3	-6
オランダ	4%	-1	-2



## 5. 汚職、経済・政治スキャンダル

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、29か国全体で汚職を回答する割合がわずかに増加し、失業と同率の27%となっています。

ベンヤミン・ネタニヤフ首相が汚職裁判で再び法廷に立ったこの1か月で、イスラエルは回答数が最も増加しました。15ポイント増加し、3分の1以上(36%)が汚職を挙げています。汚職は軍事対立(35%)よりも大きな問題となっており、テロリズム(45%)に次いで2番目に大きい問題となっています。これは1年前より6ポイント高い数値です。

先月、スペインは深刻な洪水に見舞われ、スコアは過去最高に達しています。今月、懸念はさらに3ポイント上昇して33%となり、新たな高水準に達しています。これは1年前より13ポイント高

く、2021年3月(34%)以来の最高値です。

### 汚職、経済・政治スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(59%) • スペイン(34%)
- マレーシア(49%)
- タイ(45%)

# 27%

が、**汚職、経済・政治スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 5. 汚職、経済・政治スキャンダル

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	汚職、経済・政治スキャンダルを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	27%	+1	+1
インドネシア	59%	+7	+1
ハンガリー	50%	-2	+8
マレーシア	49%	+4	-1
ペルー	47%	=	-5
タイ	45%	=	+4
南アフリカ	45%	-1	-5
韓国	43%	+4	+9
コロンビア	38%	+5	+3
イスラエル	36%	+15	+6
スペイン	34%	+3	+13
チリ	33%	-2	+4
ポーランド	29%	+5	-3
ブラジル	27%	=	+2
メキシコ	27%	+4	+7
インド	26%	=	+4
アルゼンチン	26%	+3	-8
米国	23%	+2	+7
トルコ	22%	-3	=
日本	21%	-3	+2
ベルギー	15%	+4	-4
オーストラリア	13%	+1	+1
オランダ	11%	+4	+1
英国	10%	-3	-5
イタリア	10%	-4	-2
カナダ	10%	-1	-2
ドイツ	9%	=	-1
フランス	8%	-2	=
スウェーデン	8%	-3	+1
シンガポール	7%	-6	-2

## 6. 医療

今月も医療に対する懸念は変わりませんが、昨年同時期よりは若干高まっています。4分の1弱(23%)が医療について懸念を表明しています。

ハンガリーは16か月連続で医療を最大の懸念事項としており、この問題に関して圧倒的に最も懸念している国となっています。今月、不安を表明したハンガリー国民の数は5ポイント増加し、ほぼ3分の2(64%)に達しています。これは昨年同時期より6ポイント高い数値です。

英国もまた、常に不安を抱えている国です。今月、英国国民は再び医療を最優先事項に挙げていますが

、医療を挙げた人の割合は4ポイント減少して5分の2(40%)となっています。

### 医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー(64%)
- イタリア(41%)
- 英国(40%)

# 23%

が、**医療**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 6. 医療

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	医療を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	23%	=	+2
ハンガリー	64%	+5	+6
ポーランド	43%	=	+10
イタリア	41%	+4	+10
英国	40%	-4	=
ブラジル	38%	+1	+7
カナダ	38%	-6	-4
シンガポール	30%	+2	+5
オーストラリア	29%	-3	-3
スペイン	27%	-5	-2
スウェーデン	27%	+4	+11
フランス	26%	+1	+9
オランダ	25%	-4	-15
米国	23%	=	-1
ベルギー	20%	-1	+2
ドイツ	20%	=	+3
メキシコ	19%	=	=
チリ	18%	+1	+2
コロンビア	17%	-3	=
韓国	17%	-4	+12
南アフリカ	15%	+2	+5
ペルー	14%	-3	-3
アルゼンチン	13%	-2	+3
インド	12%	=	-1
マレーシア	11%	+1	+4
日本	10%	+1	-2
タイ	8%	-1	-2
トルコ	7%	+2	+3
イスラエル	6%	+1	-1
インドネシア	5%	-3	-2

## 9. 気候変動

今月、29か国における気候変動に関する回答数はわずかに減少し、16%となっています。

米国は今月5ポイント低下して17%となり、2番目に大きな低下を経験しています。これは2024年の最低スコアの同率記録です。この水準が最後に17%を下回ったのは、2022年4月に16%に達したときでした。

気候変動について懸念を表明するスウェーデン国民の割合は4ポイントとわずかに増加しました。比較的小規模な上昇であるにもかかわらず、これは2022年3月の25%(24%)以来、スウェーデンにとって最も高い懸念レベルとなっています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

なし

# 16%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な課題の一つだと答えています。

# 9. 気候変動

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加129か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	気候変動を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	16%	-1	-1
オランダ	26%	-2	-1
日本	26%	-1	+2
シンガポール	25%	-6	-8
フランス	23%	-1	+2
オーストラリア	23%	+2	-2
カナダ	22%	+2	-3
スペイン	22%	-4	+5
イタリア	22%	-4	-1
英国	22%	+3	=
スウェーデン	21%	+4	+3
ドイツ	21%	=	-2
インドネシア	21%	+3	=
メキシコ	19%	+2	+5
ベルギー	19%	-3	-2
韓国	18%	-2	+1
米国	17%	-5	-2
ブラジル	16%	+1	=
タイ	15%	-3	-1
コロンビア	14%	=	+5
マレーシア	14%	+2	+3
ポーランド	12%	+1	-5
南アフリカ	11%	=	=
インド	11%	=	-3
ペルー	8%	+1	+2
トルコ	6%	=	-3
ハンガリー	4%	=	-2
アルゼンチン	4%	=	=
チリ	3%	-3	-3
イスラエル	2%	+1	=

## 14. テロリズム

29か国全体でテロリズムを回答した割合は、12人中1人(8%)程度とわずかに減少しました。これは昨年と同時期よりわずかに少ないです。

イスラエルは今回も圧倒的に最も懸念している国であり、45%の回答者がテロリズムが自国が直面している主な問題であると回答しています。ただし、このスコアは先月より3ポイント低下し、昨年12月より19ポイント低下しています。2024年3月と6月の2度の急増を除けば、テロリズムに対する懸念は徐々に減少しています。

**対象:** 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 8%

が、**テロリズム**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

### テロリズムが最大の懸念事項となっている国:

- イスラエル(45%)

# 14. テロリズム

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	テロリズムを懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	8%	-1	-1
イスラエル	45%	-3	-19
インド	18%	+1	+1
トルコ	17%	-2	-1
コロンビア	14%	=	-2
ペルー	14%	+1	+7
スウェーデン	10%	-3	-5
ドイツ	10%	-1	+3
フランス	9%	-2	-8
ベルギー	8%	=	-6
メキシコ	8%	=	+3
インドネシア	7%	=	-3
英国	7%	-1	+1
シンガポール	7%	-1	+2
米国	7%	-3	-6
マレーシア	6%	-2	-2
オランダ	6%	=	+2
チリ	5%	-2	-1
タイ	5%	-1	-2
ポーランド	4%	=	-1
カナダ	3%	+1	+1
スペイン	3%	-2	-5
イタリア	3%	=	-1
アルゼンチン	3%	+1	+2
オーストラリア	3%	-1	=
日本	2%	+1	-1
ブラジル	2%	-2	-1
韓国	2%	-1	-1
ハンガリー	1%	=	=
南アフリカ	1%	-2	=

## 17. コロナウイルス (COVID-19)

今月、29か国における新型コロナウイルス感染症に対する懸念はわずかに低下し、イプソスの調査で最低を記録し、現在、自国が直面している主要な問題の一つとしてコロナウイルスを挙げた人は2%となっています。

どの国でも、懸念レベルは10人に1人未満です。最も高いのはマレーシアの7%です。

パンデミック発生から5年目を迎えるにあたり、イプソスは新型コロナウイルス感染症に対する意識を追跡し続けます。

**対象:** 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

**出典:** イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 2%

が、**コロナウイルス(COVID-19)**は自国が直面している重要な問題の一つであると答えています。

**コロナウイルス(COVID-19)が最大の懸念事項となっている国 :**

なし

# 17. コロナウイルス (COVID-19)

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

国	コロナウイルス(COVID-19)を懸念していると回答した割合	先月からの変化	12か月の変化
世界	2%	-1	-2
マレーシア	7%	=	-5
インド	6%	+1	=
タイ	6%	+2	-4
日本	4%	=	-1
インドネシア	4%	=	=
カナダ	3%	=	=
シンガポール	3%	-4	-11
オーストラリア	3%	=	-5
メキシコ	3%	-4	-2
ハンガリー	3%	+2	+2
トルコ	3%	+2	-1
米国	2%	=	-5
ポーランド	2%	=	-3
英国	2%	=	-2
スペイン	2%	=	+1
韓国	2%	-2	-2
イタリア	1%	=	-2
ペルー	1%	-2	-2
ブラジル	1%	=	-3
ドイツ	1%	-1	-3
フランス	1%	=	=
コロンビア	1%	=	-2
ベルギー	1%	-1	-1
南アフリカ	1%	=	-1
アルゼンチン	1%	=	=
イスラエル	1%	=	=
スウェーデン	1%	-3	-2
オランダ	1%	=	-1
チリ	1%	-1	=

# 経済への注目

# 自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、  
[Emilios.Louca@ipsos.com](mailto:Emilios.Louca@ipsos.com)  
までお問い合わせください。

# 現在の経済状況

2024年1月を振り返ると、大きな変化が見られます。昨年の今頃、アルゼンチンはわずか6%の好景気スコアで、最下位にランクされていました。今月は、29か国中15位にランクされ、好景気スコアは32%で、これはほぼ7年ぶりの高水準です(2018年1月も32%)。

しかし、すべての国で経済認識が向上したわけではありません。1月以降、フランス(-20ポイント)とベルギー(-14ポイント)を筆頭に、6か国で経済の好景気スコアが2桁減少しています。

今月、ドイツの好景気スコアは4ポイント低下し、過去最低(27%)を記録しています。一方、フランス(10%)は2016年2月以来の最低スコアとなり、最下位に落ちています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

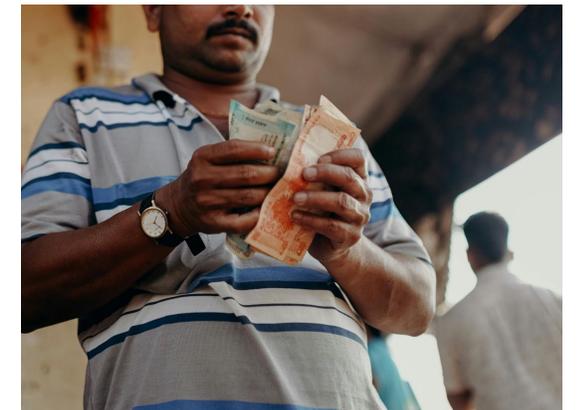
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

## 経済を最も懸念している上位国:

- フランス(90%が「悪い」状態だと回答)
- 韓国(90%)
- 日本(89%)
- ハンガリー(84%)
- ペルー(83%)

# 27pp

アルゼンチンの好景気スコアは2023年12月から27ポイント上昇しました。



# 現在の経済状況

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

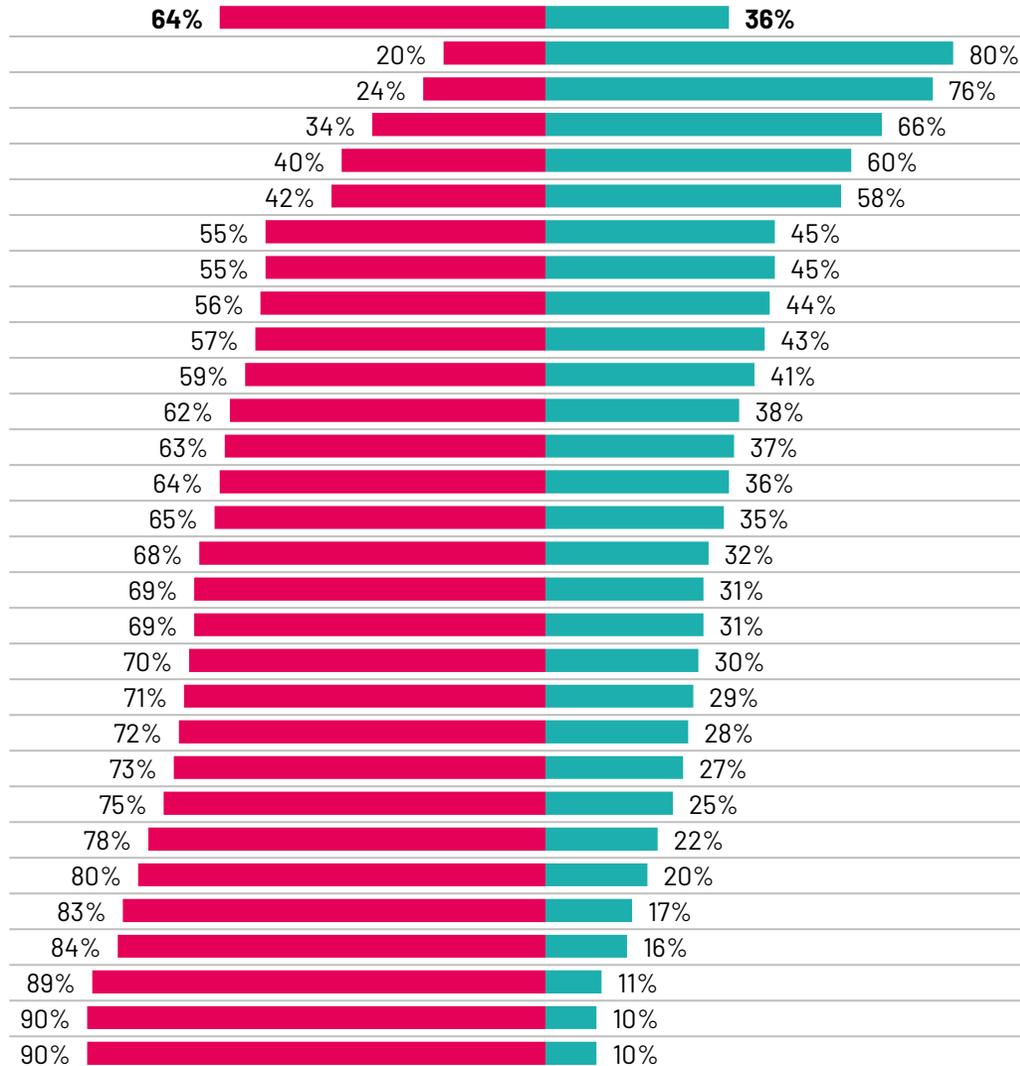
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2024年12月

## 国

### 世界

シンガポール  
インド  
インドネシア  
オランダ  
マレーシア  
タイ  
オーストラリア  
メキシコ  
スウェーデン  
米国  
ポーランド  
スペイン  
カナダ  
ブラジル  
アルゼンチン  
南アフリカ  
ベルギー  
イスラエル  
チリ  
イタリア  
ドイツ  
コロンビア  
英国  
トルコ  
ペルー  
ハンガリー  
日本  
韓国  
フランス

## Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い



## 先月からの変化 12か月の変化

先月からの変化	12か月の変化
-1	-
+3	-1
-3	-4
+8	+2
=	+6
-12	+12
+2	-5
+2	+2
-10	-10
+4	+13
+3	+3
-6	=
+3	+4
+5	+5
=	-4
+10	+27
-3	+13
-7	-13
-7	-14
-2	+7
-1	-3
-4	-11
-4	+1
-1	-1
+1	-4
-4	-2
-1	-11
-1	=
-3	-4
-5	-10



# 現在の経済状況

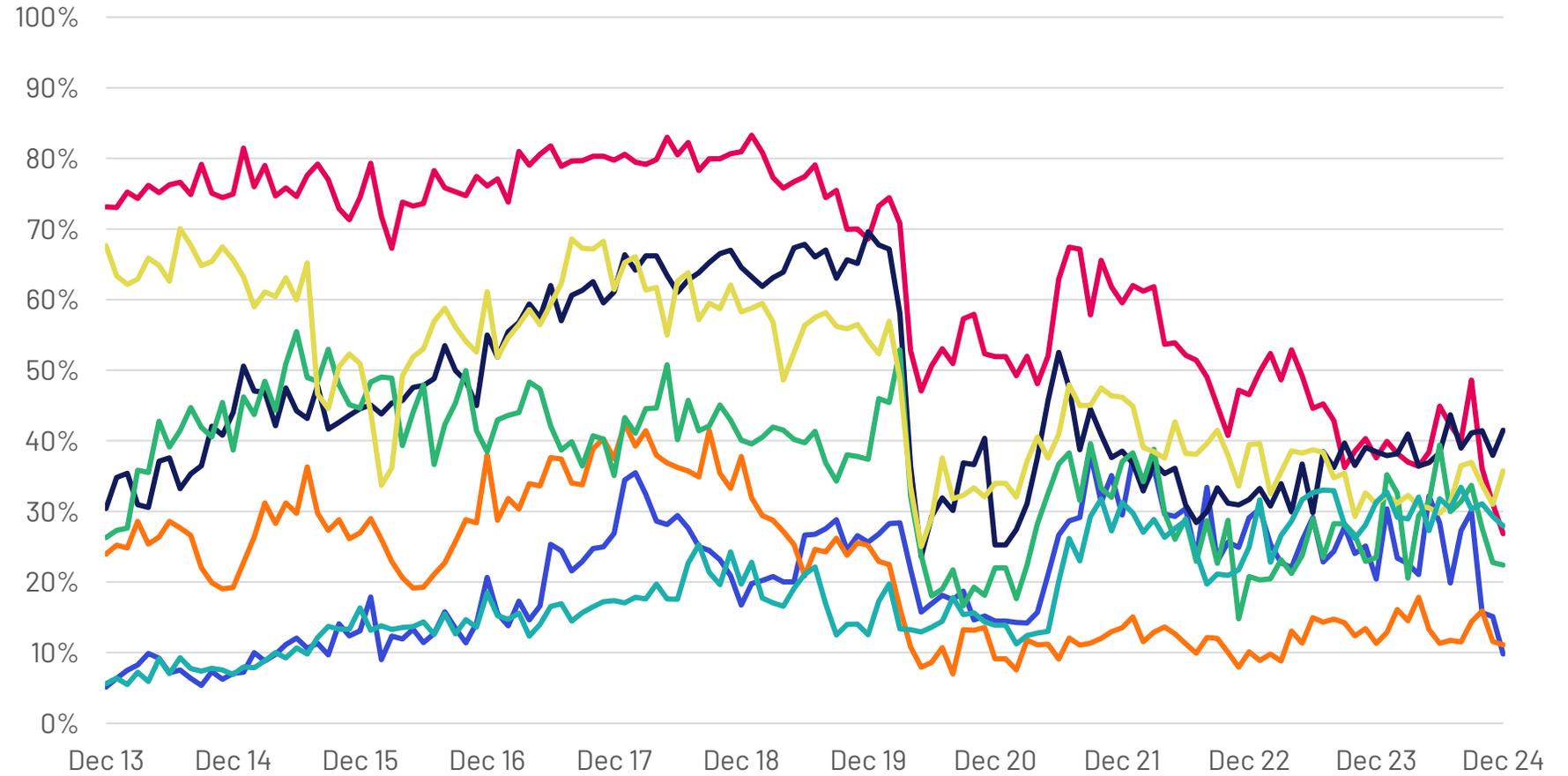
G7

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



フランス

米国

イタリア

カナダ

日本

ドイツ

英国

# 現在の経済状況

## アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

アルゼンチンは2024年1月から26ポイント上昇し、2018年1月(同じく32%)以来最高の好景気スコアを記録しています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダは今年最も安定した国の一つであり、好景気スコアは年間を通じてほとんど変化がありませんでした。しかし、経済に対する好感度はまだコロナ前の水準に戻っていません。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## フランス

%「とても良い」または「やや良い」

フランスは先月から5ポイント低下し、現在、2016年2月以来の最低の好景気スコア(9%)を記録しています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツは今月さらに4ポイント下落し、過去最低の好景気スコアを記録しています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

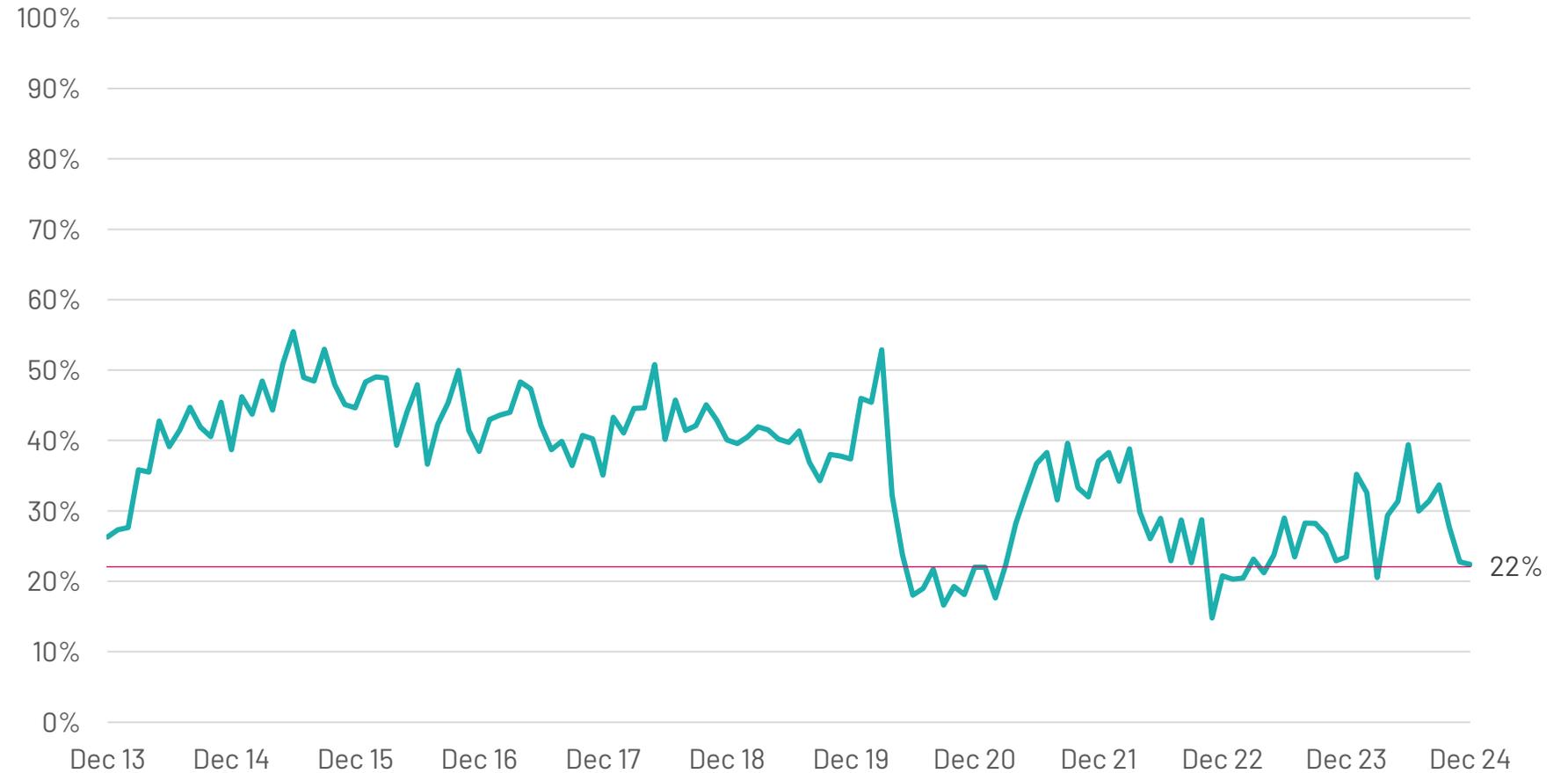
英国

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## イスラエル

%「とても良い」または「やや良い」

イスラエルは2024年1月から10ポイント下落し、大きな落ち込みを記録しています。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアの好景気スコアはイプソスの調査で最も安定しており、過去12か月間でわずか6ポイントしか変動しませんでした。

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2024年11月22日から2024年12月6日までの、参加29か国の16~74歳の23,287人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 調査手法

この29か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2024年11月22日から2024年12月6日の間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の23,287人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均結果を反映しています。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、のうち約1,800人が対面でインタビューを受け、400人がオンラインでインタビューを受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口のより「コネクテッド」なセグメントの見解を反映していると見なされるべきです。

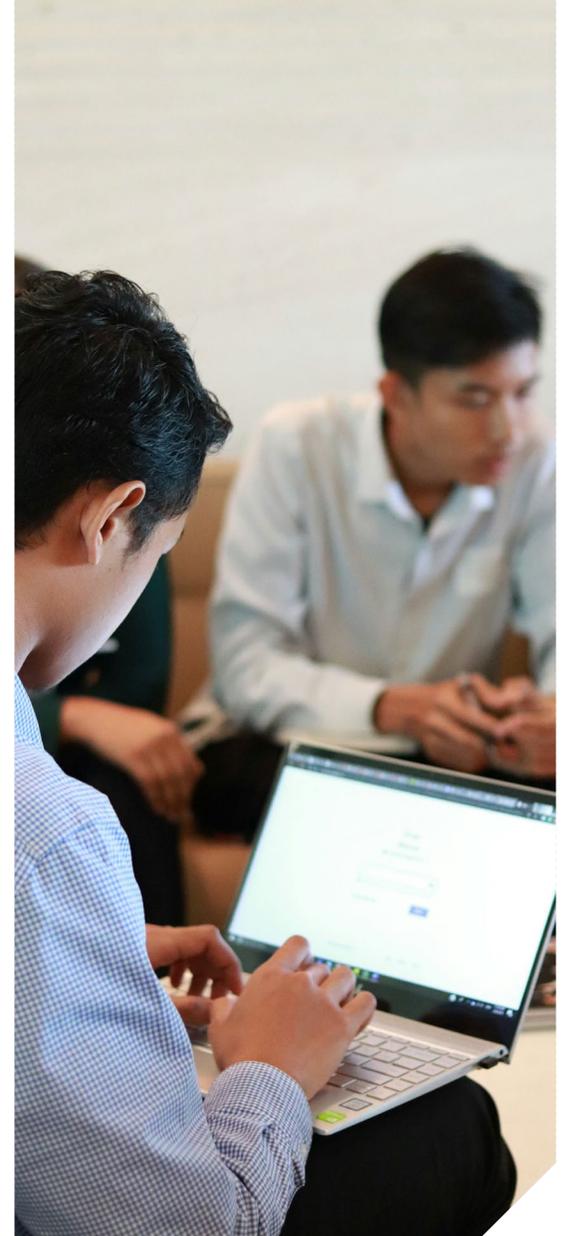
インドのサンプルは、都市部の人口の大部分を代表しており、全国4つのゾーンにわたる大都市とティア1～3の都市における社会経済階層A、B、Cを含んでいます。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では $\pm 3.5$ パーセントポイント、500件の世論調査では $\pm 5.0$ パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より $\pm 1$ 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数の回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従います。



# THANK YOU

**CONTACT:**

[Teodros.Gebrekal@ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@ipsos.com)

**VISIT:**

[ipsos.com](https://ipsos.com)